

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年2月19日

施設名	高知城歴史博物館	所管課	文化生活部歴史文化財課
-----	----------	-----	-------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)土佐山内記念財団	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所在地	高知市追手筋二丁目7番5号		
事業内容	旧土佐藩主山内家に伝来した山内家資料を核として、近世から近代までに至る高知の歴史文化に関する資料等を保存し、調査研究し、展示し、及び教育普及に活用することにより、県民文化の振興に寄与するとともに、県内の文化施設及び地域と連携し、歴史及び文化による交流を支援することにより、地域振興及び観光振興に寄与する。		
施設内容	<建物> 延床面積6220.56㎡ SRC造地上3階建 <土地> 3,983.4㎡ <主要施設> 常設展示室、企画展示室、資料閲覧室、ホール、和室、実習室、喫茶室、収蔵庫、燻蒸室、研究室など <開館時間> 午前9時～午後6時(日曜日は午前8時～午後6時) <休館日> 12月26日～12月31日 <主な料金> 常設展 500円 企画展 700円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 ホール 27,580円 実習室 17,570円 和室 20,720円		
職員体制	常勤職員:16人 契約職員:12人 嘱託職員:3人 合計:31人		

※職員数は令和6年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
収入	県支出金	272,293	292,321	311,030
	事業収入	28,775	26,790	38,850
	その他			0
	収入計(a)	301,068	319,111	349,880
支出	事業費	299,263	308,013	349,880
	(うち人件費)	(168,970)	(176,942)	(195,169)
	その他			
	支出計(b)	299,263	308,013	349,880
収支差額(a)-(b)		1,805	11,098	0

3 利用状況

		令和5年度(実績)		令和6年度(実績)		前年度比
① 年間利用者数 合計 (単位:人)	常設展	9,280人	常設展	8,018人		- 1,262人
	企画展	48,086人	企画展	46,481人		- 1,605人
	合計	57,366人	合計	54,499人		- 2,867人
	<利用実績> ・観覧者数は前年度及び目標を下回った(目標人数:85,000人、達成率:約64.1%)。					

② 利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・時期:年間(令和6年度) ・方法:館内の数か所にアンケートボックスを設置 ・回答数:1,088件 ・調査結果公表:公表せず
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 <ul style="list-style-type: none"> ・展示物等にもっと英語の説明をつけてほしいという意見に対して、R6年度夏期(7~9月)展示より、展示ケース手すりに英語解説を追加している。また、インバウンドの関心と呼びぞうなテーマのもの(正月展・服飾展・和紙展)については解説パネルに英文を併記するよう努めている。 ・収蔵品のキーホルダーや文房具系のオリジナルグッズをたくさん置いてほしいという意見に対して、グッズ化要望の高いグッズの製作検討を始めており、R8年度よりグッズ化を予定している。
○ その他	
③ その他特記事項	

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・建物・設備の管理について、適宜修繕を実施する等、入館者に対して安全かつ快適な利用環境を提供している。 ・高知県立高知城歴史博物館の設置及び管理に関する条例、基本協定書、仕様書、要求水準及び事業計画に基づく適正な事業実施が行われている。 ・災害発生時等の危機管理体制が整備されている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職から職員へヒアリングする等業務の執行状況の確認が行われている。 ・利用者アンケート結果を共有し、課題解決に向けて適切な対応ができています。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数は54,499人で、前年度比2,867人減となり、また目標の85,000人を達成することができなかった。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・収支の状況を会計システムで管理するなど適切な会計処理ができています。 ・観覧者、講座等利用者の確保のほか、貸出施設利用促進に努めることで、収入を確保し、管理費・事業費の削減と合わせて収支のバランス維持に努めた。
総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">B</div> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫及び展示環境が安定的に公開承認施設の基準値内に保たれ、継続的に国宝・重要文化財の借用展示がなされており、来館者に貴重な資料に触れる機会を提供できている。 ・利用者アンケートの実施等を元に自己点検し、利用者サービスの維持向上、改善に努めている。 ・観覧者数について、前年度比減となり、目標値を下回っているが、観覧者数増加に向けてイベントの実施や広報活動の見直し等対策を講じる努力をしている。 ・館内において、児童・生徒の来館時のサービス向上における協議を行い、年間72校の見学を受け入れるなど、教育普及事業に対する取り組みが評価できる。 ・学芸員養成講座や市町村立施設の資料整理への支援・協力など裾野を広げる活動や博物館業務のノウハウを共有する取り組みを継続している。 ・職員が事業運営や職員活動に対する様々な意見を出し合い、サービス向上のための改善に取り組んでおり、優れた管理運営、事業の遂行がされたと認められる。 </div>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの